

KOYO EUROPEAN TECHNICAL CENTER(KTEC)新建屋開所式

Opening Ceremony Held for New Premises of KOYO EUROPEAN TECHNICAL CENTER (KTEC)

1. はじめに

KTEC 新建屋は、急増する欧州客先からの引合いに対し、現地ステアリングシステム技術対応力の向上とスピードアップを図り、客先の満足を得ること、新ビジネスを獲得していくことを狙いにフランス・リヨンに設立されました。

昨年11月から新建屋で業務を開始し、2004年4月23日、対外的に開所式が開催されました。

2. KOYO EUROPEAN TECHNICAL CENTER概要

1990年、ルノーとの旧SMI(現KSL)への出資、技術援助契約に基づき、旧SMI技術部としてスタート。後に、HPI、KSDSE(旧PSA)の技術部門を統合し、2000年から現在のKTECとなりました。

本拠地：リヨン(フランス)

敷地：地上3階建て、延べ面積：3 617m²
(内実験エリア：1 647m²)

分室：シュヌビエール、ディジョン(共にフランス)、クリチバ(ブラジル)
今後KSSC(チェコ)にも計画中

従業員：256名(内駐在員：8名)

主な事業内容：ステアリングシステム(油圧パワーステアリング、マニュアルステアリング、電動パワーステアリング、電動ポンプ式油圧パワーステアリング)の応用設計、試作、評価など



KTEC 新建屋外観

3. 開所式の模様

KTECの開所式は、当社井上会長の出席のもと2004年4月23日に開催されました。

スピーチをお願いしましたコロン・グランリヨン市長の他にもケラン・ローヌアルプ地方会議長および地元政治家多数、欧州カーメーカーのお客様、欧州全土からご参加頂いたサプライヤー、青山総領事をはじめとする在リヨン日本企業の方々など合わせまして150人ほどのゲストをお迎えして開催されました。

コロン・グランリヨン市長をはじめとする政治家の方々には、開所式に出席される前に、45分ほどの短時間ではありましたが、KSL(KSE同敷地内)の工場をご視察戴きました。コロン・グランリヨン市長は、スピーチの中で光洋の品質に対する姿勢、現場の人間の労働意欲を高めるための各種方策などについて感銘を受けた旨述べられるなど、好印象を与えることができました。



コロン・グランリヨン市長のスピーチの様子



井上会長スピーチの様子

当日は、K S Eの製品をより深くご理解戴く目的でステアリングを搭載している車と共に展示しました。

当日展示された車およびそのステアリングは、Audi A4、DMC Aクラス、P S A 407、Renault Espace、トヨタ アベンシスの5台でした。P S Aの407につきましては、開所式前日に公開され、販売が開始されたばかりであり、同日にリヨンにおいても4台しかまだ無く、全部の正規代理店にも行き渡っていない状況であり、来場者からも強い関心が寄せられていました。



DMC Aクラス



AUDI A4



Renault Espace



トヨタ アベンシス



P S A 407